

平成28年6月1日

「新しい教育」で未来を拓く アクティブ・ラーニング実践シンポジウム

次期学習指導要領で謳われているアクティブ・ラーニングには、福島大学が主催した「OECD 東北スクール」や現在進行している「地方創生イノベーションスクール 2030」が大きな影響を与えています。

高大接続システム改革の大学教育改革や高校教育改革とつなげ、福島県に必要な「新しい教育」を生み出すネットワークを形成する目的で、アクティブ・ラーニング実践シンポジウムを開催します。

大学院人間発達文化研究科に設置される予定の教職大学院の在り方も視野に入れ、これからの教師教育の在り方を探っていきたいと思いますので、是非御参加下さい。

1. 主催 福島大学人間発達文化学類
2. 日時 平成28年6月25日（土）13：30～17：00
3. 場所 福島市 A0Z 多目的ホール（200人収容）
4. シンポジウム次第
 - (1) 開会のことば
 - (2) 主催者挨拶
 - (3) 基調講演（1時間）
服部 真氏（読売新聞編集委員、中教審・生活・総合的な学習の時間WG）
 - (4) 実践報告（2時間）
 - ①OECD 東北スクールと地方創生イノベーションスクール 2030（福島大学）
 - ②福島市チーム（福島第二中学校、岳陽中学校）
 - ③ふたば未来学園高校
（休憩）
 - ④福島 ESD コンソーシアム（白方小学校・朝日小学校）
 - ⑤明成高校・相馬農業高校
 - ⑥他
 - (5) シンポジウム（1時間）
「プロジェクト学習をつくり出す連携、評価方法、学習指導要領などをめぐって」
 - (6) 閉会のことば

（お問い合わせ先）

〒960-1296 福島市金谷川1番地（福島大学内）

「地方創生イノベーションスクール 2030

東北クラスター事務局」

電話：024-503-3803

メール：info@fukushimauniv.onmicrosoft.com